

平成 30 年度第 3 回栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会
会議録要旨

日時・場所	平成 31 年 2 月 28 日(木) 15:00～17:00 栗東市危機管理センター 2 階研修室	
出席委員	樋上雅一委員、堀紀彦委員、渡邊佳子委員、市木圭子委員、船元美穂委員、 宮武恵委員、安井明子委員、口村淳委員、井上かおり委員、松浦さゆり委員 (10 名)	
欠席委員	富永健二郎委員、高田佐介委員 (2 名)	
事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市民憲章唱和 3 あいさつ 4 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①指定地域密着サービス事業者選定審査結果報告について ②栗東・栗東西地域包括支援センター運営業者選定結果の報告について 5 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域密着型サービス事業について <ul style="list-style-type: none"> ①地域密着型サービス事業所の指定状況 <資料 1 > ②平成 30 年度給付実績 <資料 2 > (2) 地域包括支援センター運営について <ul style="list-style-type: none"> ①地域包括支援センターの事業評価について <資料 3 > ②平成 30 年度自己決定状況報告書 <資料 4 > ③平成 31 年度地域包括支援センター運営方法 (案) <資料 5 > ④平成 31 年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント委託事業所 一覧について <資料 6 > ⑤認知症施策実績報告について <ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策実施報告について <資料 7 > ・認知症初期集中支援センター員会議 <資料 8 > (3) 平成 30 年度 介護保険者機能強化推進交付金について <資料 9 > 6 その他 7 閉会 	

○議事録

1、開会

2、市民憲章の唱和

3、あいさつ

4、報告事項

①指定地域密着サービス事業者選定審査結果報告について

②栗東・栗東西地域包括支援センター運営業者選定結果の報告について

5 協議事項

(1) 地域密着型サービス事業について

①地域密着型サービス事業所の指定状況 <資料1>

②平成30年度給付実績 <資料2>

委員： 資料1-5、介護老人福祉施設で、以前の会議でショートステイの受入れを中止している話が出ていたが、その後どうなったか。

事務局： 今は再開して受け入れをしている。

委員： 資料2-1、各段階の計画値と実績値をみると実績割合で要介護3は実績を上まわっている。それ以外下回っているが、重度化予防策がうまく機能し、評価につながっているということなのか。

事務局： 重度化予防になっていたらと考えているが、正確には来年度、介護実態調査を実施し、分析していく。

委員： 30年度の実績を踏まえて31年度32年度に計画をたてられるのか、それとも30年度前に計画していた値になっているのか。

事務局： 第7期計画は29年度に計画立案したので、28、29年の実績より30～32年度の計画をたてている。

委員： 認定者は1年で80人ぐらい増えていく計画であるが、2ページより、訪問看護の利用人数が変わらないのは何か根拠があるのか。

事務局： 28、29年の実績から推計している。

委員： 軌道修正はしないのか。

事務局： 個別のサービスとして増減はあるが、居宅サービスという大きなくりの中でみていきたい。

委員： 3ページの訪問介護の給付実績の給付率は横ばいだが、給付額も横ばいの計算になるか。

事務局： はい。利用者の利用に応じ、28、29年度の実績から推計している。

委員： 2ページ地域密着型サービスで、定期巡回随時対応型の実績で2人となっている。使われない理由として制度自体が浸透していないということか。

事務局： 制度自体は新しいものではない。制度が浸透していないということではなく、定期巡回を必要とする利用者がいないことや、訪問介護等でまかなえているのではないかと思われる。

委員： 資料2の1ページ、要介護4・5は予想より数が減っている。重度な方が亡くなって減ったのか、または高齢化なので増えていきそうなのかどうか。

事務局： 介護予防により重度化の防止ができて減ってきたのではと推測している。

委員： 要介護4・5の人が改善していくとは考えにくいところではあるが。

事務局： 現在の認定を受けられていた方が亡くなられ、新たに要介護4・5の認定を受ける方が減っていると思われる。

(2) 地域包括支援センター運営について

①地域包括支援センターの事業評価について <資料3>

②平成30年度自己決定状況報告書 <資料4>

③平成31年度地域包括支援センター運営方法(案) <資料5>

④平成31年度介護予防支援・介護予防ケアマネジメント委託事業所一覧について
<資料6>

⑤認知症施策実績報告について

・認知症施策実施報告について <資料7>

・認知症初期集中支援センター員会議 <資料8>

委員： 認知症初期集中支援チーム員が担当した利用者の方について、ケアプランのようなものが作成されていると思うが、それについてはケアマネジャーに渡さないのか。

事務局： ケアマネジャーが作成するような詳細な計画ではなく、生活の困りごとが何か、それに対してどのように支援していくかなどの方向性についてのプランを毎回にたてている。プランに沿って訪問を重ね、支援の方向性が変わったら修正し関わっている。担当しているケアマネジャーがいる場合には、チーム員会議に出席してもらい計画についてみてもらっているが、計画書をお渡しするようなことはしていない。

委員： 資料3-2について、葉山包括については、同一法人に所属しているので実態がある程度わかるが、栗東市包括の職員は何名いるのか。

事務局： 地域支援係を含めて18名。

委員： 葉山包括が3.5人、この資料3の評価の仕方は1件でも達成していれば「○」とするのか、概ね達成していれば「○」となるのか、基準は。

事務局： 特に基準はない。

事務局： 件数についての基準はなく、少しでも達成していたら○。

委員： 評価項目の内、葉山包括が「○」で、市役所と両方が「×」というのはどう
いうことなのか、それがいくつもあるのはどういった理由なのか。推測する
に、市役所・市包括の評価項目の基準と葉山包括との基準が異なっているの
ではないか。そうであれば、評価基準についてすり合わせがいるのではない
か。

事務局： ご指摘の資料 3-4 の中で、市としての方針を伝えているかということについ
て、包括に十分伝えきれていないところがあった。葉山包括に委託するので
あれば市の運営方針であったり順次用意していく訳であるが、市として仕組
みをしっかり構築仕切れていない。ただし、書面では葉山包括に示していな
いが、連絡会の中で考えていることなど口頭でお伝えすることで取組みを進
めているため、葉山包括は「○」になっていると考える。来年度以降、3 圏
域を委託していくため、市としての方針や仕組みを構築していきたい。

委員： 栗東市が開催する地域ケア会議と栗東市包括が開催する地域ケア会議の違
いがあるのか。

事務局： 地域包括支援センターや市が開催する地域ケア会議について、市として方針
が定まっていないため明確ではない。現在、葉山包括と市包括と市で地域ケ
ア会議をどうしていくか協議をしているところである。具体的には運営協議
会の中で示していかなければならと考えているが、今回はお示しできなかつ
た。31 年度運営推進協議会の中で、栗東市としての考えている地域ケア会
議のあり方を示していきたい。

委員： 個別地域ケア会議と圏域地域ケア会議とはどんな会議か。

事務局： 国からは地域ケア会議の例は示されているものもあるが、地域の実情に合わ
せて市で考えていかなければならない。市で検討している個別地域ケア会議
としては、ご本人を中心に多職種や地域の方を含めていろんな視点で、その
方の自立に向けた支援を検討する会議を個別の地域ケア会議と定義しよう
と考えている。

委員： 実績としてはどうか。

事務局： 現時点で実績は集計していない。

委員： 葉山包括は圏域会議としてはどうか。

事務局： 2 回実施した。栗東市地域包括では圏域地域ケア会議をしていない。

委員： 成果はあるのか。

事務局： 個別地域ケア会議は本人を中心に生活で困っていることや、本人をどう支援
していくかについて地域の人を巻き込みながら実施している。地域の人たち
に見守り支援を実施してもらい、何かあったら包括に相談してもらおうとい
う連携が図れている。実際に効果や課題としてはここではお示しできないが、

来年度の運営推進協議会でお示しができたらと考える。今年度、葉山包括にご指摘いただいたことを踏まえ、次回、回答していく。

委員：初めての全国統一評価で「出来ている」「出来ていない」で評価し、今後は、質が問われていくことに変わっていくと思う。全てが「○」になっていくとは思わないが、資料3-4の今後の取り組みとにあるように、方針として明示されていないものですが、後々包括支援センターで重点的に実施していきたい方針あれば教えて欲しい。

事務局：栗東市地域包括支援センター運営方針にもあげている重点取組項目の4つを重点的に考えている。

委員：今は「×」だが来年度「○」にしていきたいと考える項目があれば教えていただきたい。

事務局：地域ケア会議の評価が全国と比べても評価が低い。そこで、栗東市の地域ケア会議をどう捉えるか市としての方針を話合ってきた。今後は話し合った内容に基づいて地域ケア会議を実施していきたい。

委員：資料7に第7期計画となっているが第8期はいつから始まるのか。

事務局：第7期は30～32年度まで、次期計画は33年度から始まりますので、次年度から第8期の策定に向けニーズ調査、実態調査、関係事業所調査に取りかかっていく。具体的なスケジュールについては整理して、新年度早々に会議でお示しさせていただく。

委員：地域区分についてどう考えておられるのか。

事務局：現在は6級地であるが、第8期では5級地に変わる。第7期については特例で、経過措置が取られている。これは、第7期で終る。第8期はない予定。

(3) 平成30年度 介護保険者機能強化推進交付金について <資料9>

質問なし

6、その他
なし。

7、閉会